

我が校の取組紹介

「やわらかく」「かたく」

「元気な子」の

育成を目指して



魚津市立道下小学校校長
谷山博徳

一 はじめに

本校は、明治五年「学制発布」の翌年、明治六年四月にお寺をお借りして「仏田小学校」として創設されました。その後「成志小学校」「啓達小学校」「道下尋常小学校」「道下国民小学校」と改称しながら、昭和二十七年「魚津市立道下小学校」となりました。今年百四十八年目を迎える大変歴史のある学校です。

校区は、魚津駅周辺の商店街、線路両側の住宅地帯、海岸線近くの工場地帯、北側の田園地帯からなっています。また、市役所や体育館等多数の公共施設があり、恵まれた生活・教育環境にあります。

学校教育目標「豊かな心を持ち、たくましく生きる子供を育てる」を目指し、「やさしく」「かしく」「元気な子」を合言葉に、本校が取り組んでいる教育活動の一端を紹介します。

す。壁新聞にまとめたものを発表する、クイズを出す、低学年は感想を発表するなど全員が役割をもって参加します。異学年で構成されたグループで協力して活動することで、発達段階に応じたコミュニケーション能力や人間関係づくりの力、温かい思いやりの心を育てる活動になっていきます。また、地域を知るいい機会にもなっています。

◆校内しんきろうロードマラソン大会

二学期に実施する校内しんきろうロードマラソン大会は、三〇回以上行われている伝統ある行事です。

学校の近くの海岸線に日本風景街道にも登録されている蜷気楼ロード（サイクリングロード）があります。そこをコースに一年生の六〇〇メートルから六年生の二〇〇〇メートルまで学年ごとに定めた距離に挑戦します。

学校での体育の時間の練習だけでなく、放課後や休日に個人練習を積極的に行う児童もいます。



しんきろうロードマラソン大会



しおかぜ報告会

二 取組の概要

◆縦割り班遠足（縦割り班活動）

一学期に実施する縦割り班遠足は、学校週五日制が試行されたときから三十年以上にわたって実施しています。

「しおかぜタイム」として活動の時間を設定し、見学先、昼食場所、交通手段、日程、班のめあてなど自分たちで計画を立てます。見学先は、消防署、警察署、魚津水族館、埋没林博物館、温泉、ホテル、地元のケーブルテレビ局、校区にある事業所など、市内の施設から選びます。見学先が決まったら、六年生が見学先に電話で依頼します。

遠足当日の引率は教員だけでなく、保護者や地域の方にも依頼しています。見学先では、事前に班でまとめておいた質問をインタビュしたり、体験活動をしたりします。白バイに乗ったり、実際にアナウンサーをしたりするなど、普段なかなかできないことが体験できます。交通機関を利用する班、全て歩く行程にする班、どの班も学校に戻ってきたときは疲れてはいますが、満足感いっぱい表情を見せてくれます。

遠足が終わると、見学先や外部の引率者へのお礼の手紙を書き、各班で冊子にして渡します。また、「しおかぜ報告会」としてポスターセッション方式での報告会も行いま



(見学先) 地元のケーブルテレビ局

自分も走った経験のある保護者もおり、当日は、コース沿道にたくさんさんの保護者が応援に来られます。

海岸道路を走る楽しさと気持ちよさ、目標を立てて練習し達成する喜びを味わうことのできる取組になっています。

◆戦争と平和についてのおはなし会

非核平和宣言都市である魚津市は、戦争を身近な出来事としてとらえ、平和な社会について考える機会をもってもらうと、この「おはなし会」を開催しています。本校では毎年、夏季休業中に六年生を対象に実施しています。十年以上続いている取組です。

「おはなし会」では、防空頭巾など当時の服装を身に着けた朗読ボランティアさんに富山大空襲の体験を紙芝居で読み聞かせていただいたり、長崎で実際に被爆者を看護された親族の方の体験談を聞かせていただいたり、戦争や原爆の被害の恐ろしさを身近に学ぶことができます。



戦争と平和についてのおはなし会

三 おわりに

昨今のコロナ禍で、行事や活動が中止になったり縮小されたりしています。そんな中、感染症防止対策をしつかりと施しながら、どうすればできるかを考え、子供たちの学習、活動の取組を進めていきたいと思っています。